



「収穫は多いが、働き手が少ない」ルカ10:2

ブラジル宣教のために、いつもみなさまのお祈りとご支援を感謝申し上げます。2012年10月31日に家族でブラジルに到着した日から数えて、今月末でちょうど丸12年が経ちます。日本の諸教会のみなさまのとりなしに支えられて、本当に多くの恵みと祝福のなかで、主のご真実を経験させていただいてきました。三期の区切りにあたって、12月と1月に宣教報告のため、家族で一時帰国を予定しています。日本のみなさまに日頃の感謝と宣教の恵みをお伝えしたいと心から願っております。

最近の教会や宣教の働きを以下に紹介いたします。

- ・ブラジリア教会の礼拝：最近是非日系のブラジル人も増え、ペルーやベネズエラからの兄弟も出席しています。説教はポ語と日本語ですが、礼拝後の交わりはスペイン語も入り混じり国際色豊かな「神の家族」を実感しています。
- ・きらきら会：月一回開催される高齢者のための集会で、最初に健康体操や血圧測定をし、賛美や証、聖書のメッセージの後は、互いに持ち寄った料理をいただきながら話に花が咲きます。高齢の兄弟姉妹の笑顔がいつも素敵です。



- ・子どもサッカークラブ：毎週土曜の朝から、元気な声が飛び交います。7-12歳の無垢な子どもたちばかりですが、人間の罪と神の愛、主イエスの救いを毎回伝えながら、子どもとその家庭の祝福を祈っています。二家族が教会の交わりと礼拝につながっています。



- ・日本の諸教会とのオンライン礼拝/集会：この半年ほどで、7つの集会でご奉仕させていただき、みことばと宣教の恵みを分かちあうことができました。お招きくださり感謝いたします。5/5 北秋津キリスト教会、5/19 生駒めぐみ教会、5/26 墨田教会、6/30 知立キリスト教会アワナクラブ、8/18 周東のぞみキリスト教会、8/21 HBC子どもキャンプ、9/12 北陸飛騨宣教区ブラジル宣教報告会。

- ・中倉久偉（なかくらひさい）さんの召天（74歳）
9月1日、主にある兄弟久偉さんが天に召されました。肺がんが見つかってわずか半年足らずでの召天でした。最後まで穏やかな笑顔を絶やさない人でした。召される10日ほど前のお見舞いで第二コリント5:1の聖句を読み、共に祈ったのが、地上での最期となりました。



「たとえ私たちの地上の住まいである幕屋が壊れても、私たちには天に、神が下さる建物、人の手によらない永遠の住まいがあることを、私たちは知っています。」ご遺族に天来の慰めと希望が与えられますように。

- ・ヴァルゼンボニータの祝福を：毎月、吉田宅でのガレージ礼拝が続けられ、毎回私が聖書のメッセージを語っています。心が開かれているヴァルゼンのご婦人たちが聖霊の助けによって、悔い改めに導かれ、主イエスを救い主と心にお迎えできるようにお祈りください。



近況と祈りのお願い

- ・9/8の礼拝はブラジリアライアンス教団の「献身者デー」でした。「収穫は多いが、働き手が少ない」現実を語り、収穫の主にならざるに迫り祈る礼拝を持ちました。次世代の教会と宣教を担う働き手が起こされますように。
- ・ヴァルゼンボニータの礼拝に集う婦人らの救い（伊波、中嶋、安田、岩切、前添、園田ほか）。リハビリ中の仲田さんの回復と救いのため。

2024年7-9月 献金のご報告と感謝 （*9月18日までの分）

	(7-9月分)	(1-9月分)
指定献金:	857,500 円	(累計: 1,663,330 円)
現地支援:	235,100 円	(累計: 757,700 円)
合計:	1,092,600 円	(累計: 2,421,030 円)

2024年も残すところ二ヶ月となりました。主にある兄弟姉妹、先生方、諸教会のご支援に支えられ、三期12年の働きを全うすることができました。さらに四期目に向けて、なお一層のとりなしとお励ましを心からお願ひ申し上げます。みなさまのお働きと生活が主の恵みで満たされますようにお祈り申し上げます。

2024年 献金目標額：410万円
（「浜田宣教師指定」300万円+現地支援110万円）